科目名 Subject	日本事情Ⅲ Current Japanese TopicsⅢ		教員名	日本語チーム	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	△	○	◎
科目の概要	「日本事情」という科目は何のためか？　第一に、本学で日本人学生とともに学ぶ留学生が、日本語で行われる授業で、しっかり学び、自分の頭で考えることができ、考えたことや感じたことを、きちんとした日本語で話したり書いたりできるようになるためである。第二に、留学生たちが、日本社会や日本のカルチャーをよく知り、よく理解し、その上で日本に前向きな関心を持つためである。第三に、本学卒業後、日本で学んだり、働いたりすることを希望する留学生たちが、多文化共生社会へと転換するであろう日本社会において、立派に活躍し、社会に貢献するためである。特に第三のポイントに注力。以上を踏まえ、まず、日本語の４技能（読む・書く・聴く・話す）のより実践的な能力を高めるための授業を行う。その上で、留学生たちが、日本社会や日本のカルチャー、さらには、美齢学の観点から日本の美についての理解を深め、卒業後も、希望者が日本において、社会に貢献しつつ、日本での生活を楽しむことができるようなスキルの獲得を目指した授業を行う。				
授業の目標	（１）本学における授業の内容を十分に理解でき、授業に貢献（発表）できるようになる （２）日本社会を理解し、自らの生活に活かせるようになる （３）日本のカルチャーを理解し、自らの生活に活かせるようになる （４）日本社会で必要なコミュニケーション能力を発揮できるようになる （５）日本社会に貢献するためのスキルを身につけられるようになる （６）日本での生活を楽しみ、日本人との交流を真に楽しめるようになる　　特に、（１）（２）。				
時間外学習 （予習・復習）	前回の授業で学んだこと、自分が興味を持ったことについて簡潔にまとめ、今回の授業で学びたいことや質問等を書いた小レポートを毎回、授業開始前に提出する（前回の授業で学んだことに関連して自分で調べたことを書いてもよい）。自分の頭で考え、自分の言葉で書く能力を伸ばす重要な機会。				
教科書・教材	教科書	必要に応じて、いろいろなテキストを使う			
	教材	必要に応じて、いろいろな教材を使う			
	使用設備・備品	パソコン、プロジェクターなど			
	参考文献	適宜紹介します			
評価方法	・授業への貢献度（グループ討議への参加、意見発表、質問等）⇒　３０％ ・時間外学習による小レポート提出　⇒　２０％ ・最終レポート（「日本事情」をどう理解したか。それを踏まえて自分は 　何をするつもりか」のレポートを第１５回の授業時間に作成）⇒　２０％ ・定期試験　⇒　３０％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	詳しいレジュメは用意しません。講義を聞きながらメモ・ノートを取って下さい。社会に出ると、取引先、お客様等でレジュメを用意してくれる人などまずいません。相手の話を聞いて、メモを取り、その情報を上司や同僚と共有するためにレポートを書くスキルは必ず必要になります。				
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	日本企業研究（その１）	自らの就職も視野に入れた上で、日本企業についての一般的な情報収集、情報分析ができるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第２回	日本企業研究（その２）	一般的な情報収集・分析力を踏まえ、興味を持つ情報を取捨選択し、企業研究を踏まえた志望動機が書けるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第３回	エントリーシートの書き方（その１）	まず、実際に書いてみて、どこが不十分か、きちんとした自己分析ができるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第４回	エントリーシートの書き方（その２）	前回の自己分析を踏まえ、企業の採用担当者に読んでもらえるエントリーシートが書けるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第５回	ＤＶＤ「釣りバカ日誌新入社員浜崎伝助」の聴解　その１４	日本の会社におけるコミュニケーションを学び、日本社会のカルチャーについての理解を深める。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第６回	課外授業 日銀貨幣博物館の訪問	貨幣博物館の見学を通して日本の歴史を理解し貨幣の変遷に関する知識を得、キャッシュレス社会も展望できるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第７回	ＤＶＤ「釣りバカ日誌新入社員浜崎伝助」の聴解　その１５	日本の会社におけるコミュニケーションを学び、日本社会のカルチャーについての理解を深める。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第８回	ディスカバー・ジャパン（その１）	日本人しか行かないような料理店に行けてこそ日本の本当の魅力が分かる。Ｂ級グルメ情報収集・理解ができるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第９回	ＤＶＤ「釣りバカ日誌新入社員浜崎伝助」の聴解　その１６	日本の会社におけるコミュニケーションを学び、日本社会のカルチャーについての理解を深める。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第１０回	ディスカバー・ジャパン（その２）	各人が自分の好きな日本について、写真なども使って、プレゼンできるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第１１回	ＤＶＤ「釣りバカ日誌新入社員浜崎伝助」の聴解　その１７	日本の会社におけるコミュニケーションを学び、日本社会のカルチャーについての理解を深める。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第１２回	日本の特殊性についての理解	日本人が世界から見てユニークな点について、その歴史的な背景が理解でき、それに対応できるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第１３回	ＤＶＤ「釣りバカ日誌新入社員浜崎伝助」の聴解　その１８	自分の長所と短所について、簡潔に書け、口頭て具体的に説明できるようになる。質疑応答にも対応できるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第１４回	コミュニケーション能力の向上	日本社会で信頼され好かれる人間になるために、コミュニケーション能力をどう育て、活かしていくかが分かるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第１５回	１４回で学んだことや考えたことをまとめ、それを自分の行動にどう活かすか、話し合い、発表し、レポートにまとめる。	学習や思考を行動につなげられるようになる。	１４回の授業をレビューし、自分の今後の行動にどう活かすかについて、前もってよく考えて来ること。（６０分）